

福まち
かわら版

大通地区

みんなで見守り・助け合える仕組みづくりに
取り組みました！

～『かくれんぼスタンプラリー』～

令和5年9月2日（土）に大通地区で、認知症の高齢者や子どもたち等がいなくなった際の対応を想定し、スマートフォンのアプリで検索する訓練を兼ねたイベント『人物を探せ！大通地区かくれんぼスタンプラリー』が開催され、大通地区社会福祉協議会や大通地区福祉のまち推進センターの関係者、地域住民のみなさん等、約30名が参加されました。

当日、検索協力者となる参加者は、スマートフォンに無料アプリ『地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）』をダウンロードし、今回検索していただく5名の情報を受け取り、大通公園や札幌市資料館周辺を歩いて検索しました。

参加者は4～5名のグループに分かれ、アプリから発信された検索する5名の写真や服装、趣味などの情報を頼りに、約1時間ほど、検索エリアの地図を見ながら中通りや公園・お店など、「ここにいるのではないか？」と

推理していました。

参加されたみなさんは、「ゲーム感覚で面白かった」、「写真があったので探しやすいかった」と話されていました。

身近なスマートフォンアプリの活用によって、認知症の方や子どもたち等を見守り・助け合う地域づくりに協力していただける方が増えることを願っております。



▲参加者のみなさんが使用した「検索エリアの地図」

